

## 苫小牧港に温度管理型冷凍冷蔵庫を新設し、北海道食の成長・移輸出を促進

2017年4月3日

苫小牧埠頭株式会社

### 1. 趣旨

日本の成長に向けた北海道食の移輸出拡大には、物流高度化を図り、鮮度維持、大型施設での安定した出入荷、混載共同利用による輸送効率化等を実現する必要があります。

また、北海道最大の港湾である苫小牧港に大型冷蔵倉庫を新設し、食の国際物流拠点としての機能を強化することが喫緊の課題となっています。

こうした取組みは、今後の北海道の食品加工産業の育成にも繋がるものです。

このため、苫小牧港に温度管理型冷凍冷蔵庫を先行的に整備し、食と物流の一体化した食産業基地の形成を進め、北海道食の成長を促進します。

### 2. 特色

- ・北海道食の移輸出拠点となる大規模で一元的な港湾型冷蔵倉庫
- ・空港と港湾のダブルポートによる効率的な輸出入体制の整備
- ・多様な荷主の食品関連貨物を取扱う複合型共同施設
- ・冷蔵倉庫の次世代モデルとなる先進的な機能や事業手法を活用
- ・老朽化が進む道内冷蔵倉庫の更新需要に対応
- ・食品の分散保管や港湾の防災拠点化による災害対応機能の強化
- ・北海道における食品加工産業の創出への貢献

### 3. 立地

- ・苫小牧港東港区国際コンテナターミナル隣接地
  - ・将来性ある苫小牧東港に立地
  - ・日本最大の苫東基地と連携
  - ・新千歳空港と近接、高速道路等との良好なアクセス、札幌都市圏に至近

### 4. 施設

- ・道内大規模クラスで、多温度対応、鮮度管理等の高付加価値サービスを提供し、環境対応、IT活用等の先進的な取組みを実施
  - ・収容能力—20,000 t 程度
  - ・機能—冷凍—18℃、冷蔵—10℃、定温 5—18℃  
CA（空気成分調整）倉庫、環境対応（自然冷媒）、省エネ・省力化等
  - ・投資額—60 億円程度
  - ・操業開始—平成 31 年 4 月（予定）

### 5. 事業スキーム

- ・新規事業のリスク分担、共同利用促進等の観点からSPC方式を採用
  - ・SPCが苫小牧埠頭株の取得用地を賃借して建物を建設し施設を賃貸
  - ・出資者は、苫小牧埠頭株、物流企業、金融機関のほか、長期投資可能な者を想定
- ・今後の食産業基地形成に向け関係者と連携して民間主導の協議会を設立予定。

以 上